トピックス

愛・地球博で除雪ロボットを公開

本学機械制御システム工学科・中嶋新一教授はNICO、新潟県工業技術総合研究所、山形大学、（株）技術開発研究所とのグループで自律運行型除雪ロボット「ゆき太郎」を開発し、愛・地球博プロトタイプロボット展に出展しました。このロボットは従来の除雪機と異なり、雪を飛ばさずに内部でブロック状に固めます。狭い駐車場などで夜の間に自動的に除雪作業を行うことを考えています。愛・地球博では6月の猛暑の中、雪を使った実演を行い、好評を博しました。

小型水力発電装置　NHKテレビで

本学情報電子工学科・佐藤栄一助教授らが山梨県都留市で行っている水車の実証実験の様子がNHK総合テレビの「おはよう日本」（おはよう首都圏）で7月15日に紹介されました。この水車は、信州大学や新潟ウオシントン等と共同で研究開発を行ったものであり、現在は「エコ水車・スーパーフラッシュ」の名称で商品化もされています。導水管などの付帯設備を必要とせず、現在の川の流れをそのまま生かして発電を行うのが特徴です。

リレーフォーラムinながの シーズを公開

10月5日（水）に、長野市のメルパルクNAGANOにおいて、標記イベントが開催され、本学からは、斎藤英一教授（遺伝子工学）と寺島正二郎助教授（医療福祉）の2名が展示ポスターセッションに出展しました。

本イベントは、新潟県と長野県の企業・研究者・支援機関の連携を促進するために開催されているものであり、両県の企業からの技術開発事業の成果発表や企業・大学の展示ポスターセッションが実施され、約110名の参加がありました。

斎藤ブース（左）、寺島ブース（右）

OMIAI　partⅡ　シーズを公開

10月18日（火）に、新潟市異業種交流研究会共同組合が主催する標記イベントが、新潟市の万代シルバーホテルで開催され、本学から角山正博教授（回転機器異常診断システム）と穂積秀雄教授（制振デバイス）の2名が出展した。

本イベントは、県内8大学と1研究機関が出展しシーズを展開したもので、上記組合加盟者が希望するブースを訪問し、お見合い形式で技術交流を図ったものである。多数の参加があり、応用可能なシーズを求めて各ブースは熱気にあふれた。

開発したシステムを解説する角山教授